

NVR用
操作手順書②
カメラ・オーディオ項目設定
(1.00版)

2026 年 09 月 15 日



WDJ Hi-Tech Inc.

株式会社 WDJ ハイテク

(1.00 版)

Copyright © 2026 WDJ Hi-Tech Inc. All Rights Reserved.

文書番号:WDJ-Tec-MAN-050



— 変更履歴 —

版数	変更日	区分	変更箇所		変更内容
			頁	項番	
1.00	2026/09/15	新規			新規作成

1. 本書に関して	3
1.1. 本書について	3
2. 画面操作の基本	4
2.1. マウス操作	4
2.2. ソフトウェアキーボード操作	4
3. カメラ設定	5
3.1. IP カメラ設定	6
3.2. ズーム/フォーカス	14
3.3. 画像設定	17
3.4. エンコード設定	18
3.5. チャンネル名設定	22
3.6. プライバシーマスク設定	26
4. カメラのFirmware アップグレード	28

1. 本書に関して

1.1. 本書について

- ・ 本書は WG-NVR162-S（以下、レコーダー）を、簡単に設定して頂くための手順です。
- ・ 本書は、カメラ設定に関する以下の設定、ならびにオーディオ入出力設定について説明します。
 - ネットワークカメラ接続
 - ズーム/フォーカス
 - 画像調整
 - エンコード設定
 - プライバシーマスク設定
 - チャンネル名
- ・ ご使用のファームウェアによっては、本書と一部異なる画面及び文言になる場合があります。

2. 画面操作の基本

本レコーダーは、キーボードを使用せずに、マウスだけで操作を行います。
キーボード操作が必要な場合には ソフトウェアキーボードを使用します。
本章ではマウスの基本操作とソフトウェアキーボードの使用方法に関して簡単に説明します。

2.1. マウス操作

・基本の操作は下記の通りです。

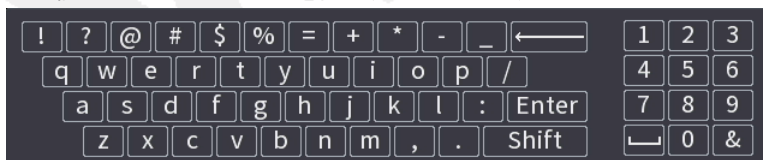
左クリック	選択、決定
右クリック	キャンセル

2.2. ソフトウェアキーボード操作

1) パスワードなど文字入力が必要な場合



入力欄にマウスポインターを置き、左クリックするとソフトウェアキーボードが表示されます。



 は“スペース”、 は、“1 文字消去” です。

『Shift』をクリックすると、大文字入力用に変更できます。



2) マウスで文字及び数字を左クリックし文字列を入力し、最後に 『Enter』 をクリックし、入力を確定させます。

3) 時間や年など数字のみの入力が必要な場合は



入力欄にマウスポインターを置くと
テンキーだけのソフトウェアキーボードが表示されます。



4) テンキーソフトウェアキーボードは Enter キーがないので
入力終了後、入力欄にマウスポインターを置き、左クリックで入力を確定させます。

3. カメラ設定

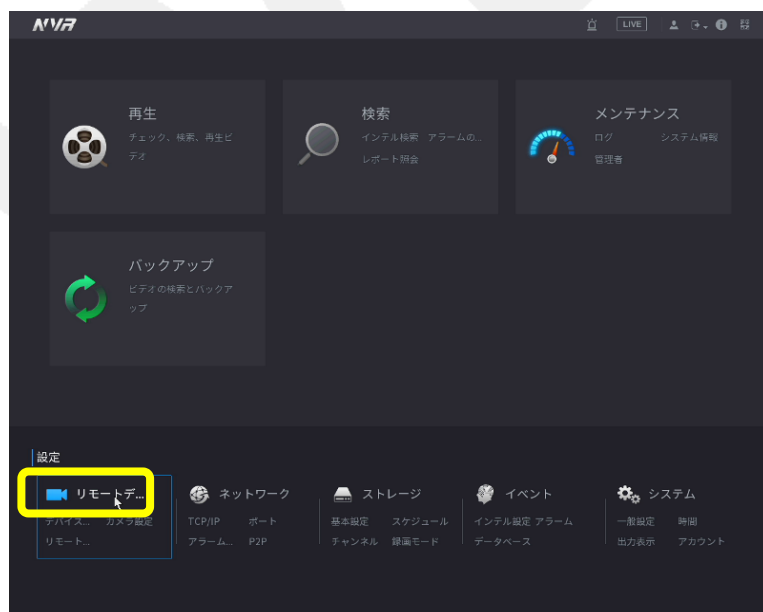
カメラの設定に関する以下の設定について説明します。

- ・ IP カメラの初期化
- ・ IP カメラの登録
- ・ 画面調整
- ・ エンコード設定
- ・ プライバシーマスク
- ・ チャンネル名設定

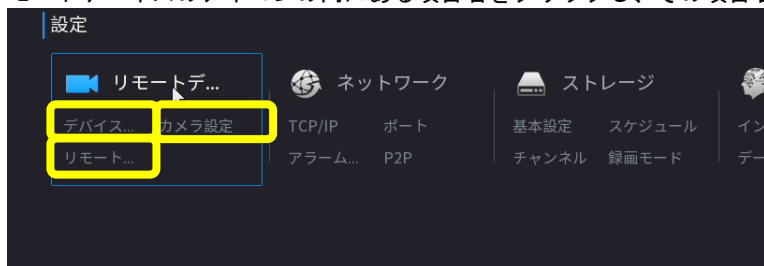
カメラ設定は、全てメインメニューのリモートデバイスの項目にて設定します。

※但し、カメラが接続されていないチャンネルは設定できないので、ご注意ください。

メインメニューの『リモートデバイス』をクリックし、カメラ設定の設定画面を表示させます。



※リモートデバイスのアイコンの内にある項目名をクリックし、その項目名の設定画面を表示することも可能です。



3.1. IP カメラ設定

3.1.1. IP カメラの初期設定

IP カメラを接続する場合、IP カメラのパスワード設定やネットワーク設定などの、初期設定を行う必要があります。初期設定を行うには、以下の2つの方法があります。

すでに IP カメラの初期設定を終了している場合は、「3.1.2 IP カメラの登録」の手順へ進んでください。

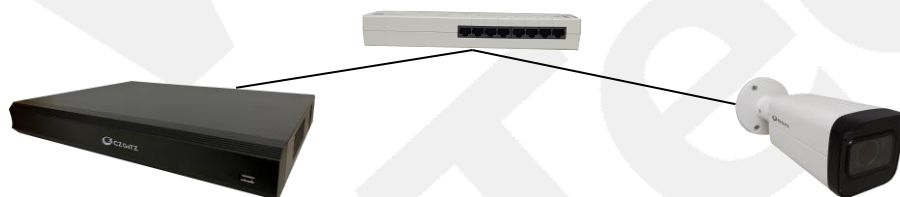
方法	概要
レコーダーの初期設定機能による設定	同じネットワーク環境に接続し、レコーダーに登録している初期設定機能を用いて、IP カメラの初期設定/ネットワーク設定を行います。
PC による初期設定	WEB ブラウザを用いて、PC から IP カメラにアクセスし、WEB 画面にて初期設定/ネットワーク設定を行います。 手順については、「IP カメラ用 操作手順書①（初期設定・ログイン・ログアウト）」の手順書を参照して下さい。

3.1.1.1. レコーダーの初期化機能による初期設定

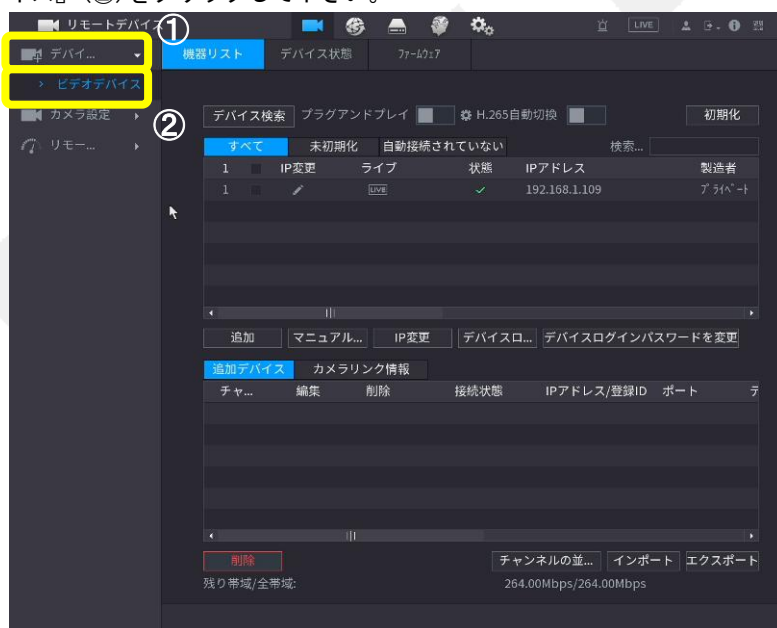
IP カメラを PoE ハブやルータに接続する場合の IPC 初期設定手順を記載いたします。

IP カメラによっては初期設定が出来ない場合があります。その場合は「3.1.1.3 PC による初期設定」を参照し、PC を用いて初期設定を行って下さい。

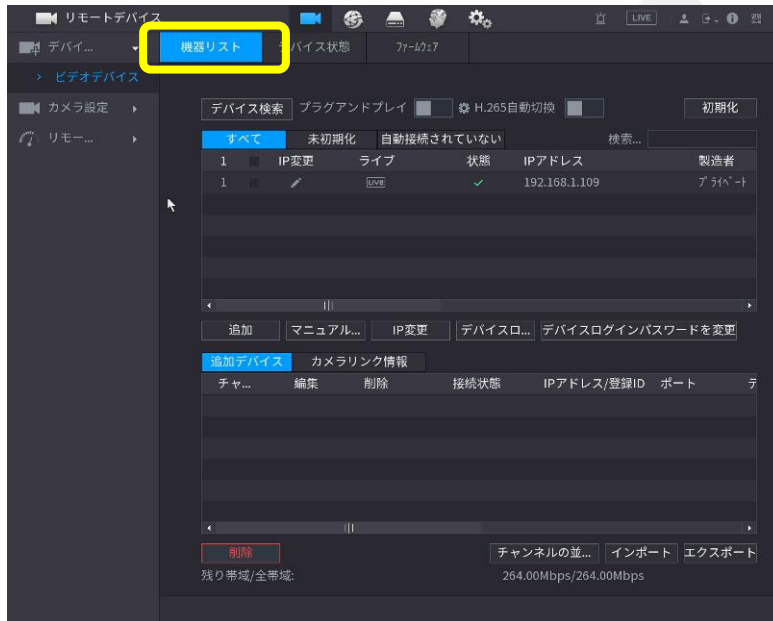
IP カメラとレコーダーが同じネットワークになるように接続し、電源を入れて下さい。



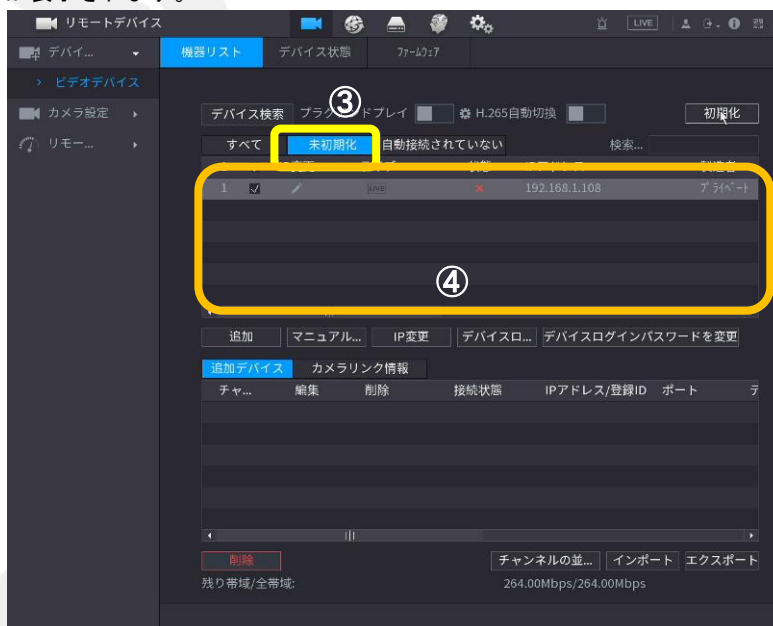
- 1) リモートデバイス画面の左側のリストから、『デバイスと追加』(①)をクリックし、表示したリストから『ビデオデバイス』(②)をクリックして下さい。



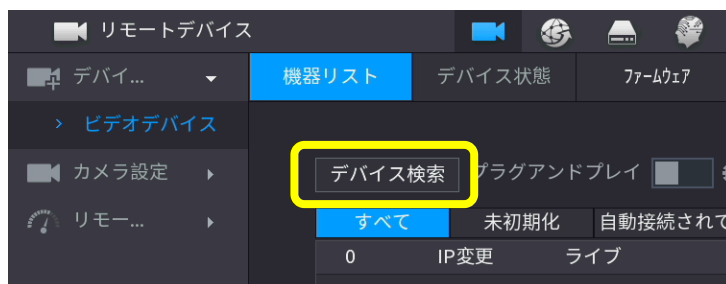
- 2) ビデオデバイス画面の上部の『機器リスト』のタブをクリックして下さい。



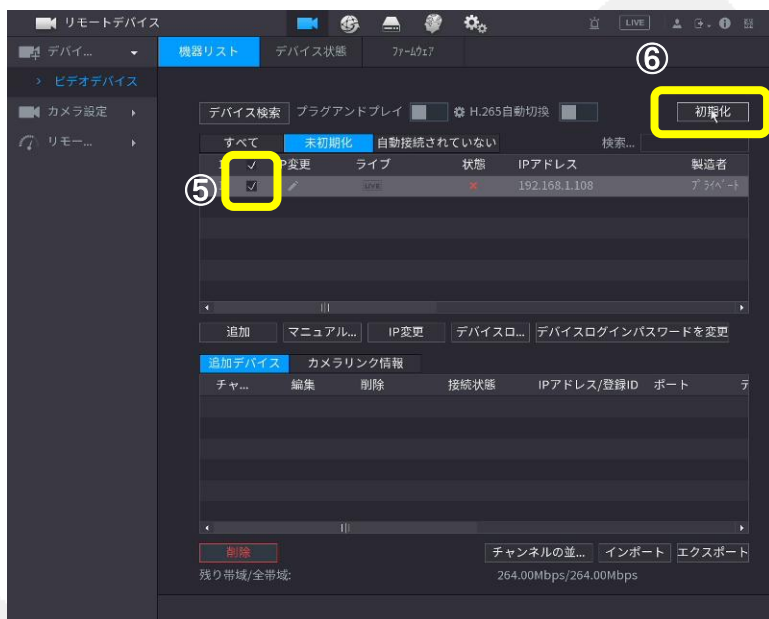
- 3) デバイスの一覧表示の上にある、『未初期化』(③)のタブをクリックすると、タブの下に未初期化の機器の一覧(④)が表示されます。



※一覧が表示されない場合は、「すべて」のタブの上にある『デバイス検索』をクリックして下さい。



- 4) 初期設定をするカメラに☒ (⑤) を入れ、画面に右上にある、『初期化』 (⑥) をクリックして下さい。



- 5) チェック (⑦) を外し、パスワード入力項目が表示されるので『パスワード』と『パスワード確認』にパスワード (⑧) を入力します。

※パスワードは8文字以上です。大文字 / 小文字 / 数字 / 記号の組み合わせで12文字以上を推奨します。

※レコーダーと同じパスワードとメールアドレスの設定にする場合は、チェックを入れたまま、『次へ』をクリックし、7)の手順へと進んで下さい。

- 6) 入力が終わったら、『次ステップ』をクリックして下さい。

デバイス初期化

☐ カメラのログインパスワードとデバイスのメール情報を使用

ユーザー名 admin

パスワード ●●●●●●

パスワード確認 ●●●●●●

パスワードは8~32文字にする必要があります。数字、大文字、小文字、特殊文字の2つ以上のカテゴリを含める必要があります（';&などの文字は含めることはできません）。

次へ

- 7) E-mail 設定画面が表示されるので、『スキップ』をクリックして下さい。

デバイス初期化

☒ Emailアドレス

パスワードのリセットに使われています、早めに情報を補完することをお勧めします。

前 次へ スキップ

- 8) IPカメラの「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」(⑨)を設定します。
入力が終わ後、『次ステップ』(⑩)をクリックすると初期設定処理が開始されます。

※ネットワークの設定は、ご使用になるネットワーク環境に合わせて設定して下さい。設定値については、設置場所のネットワークの担当者にお問い合わせ下さい。

デバイス初期化

選択済デバイスNo.: 1

静的

IPアドレス 192.168.1.108 増分値 1

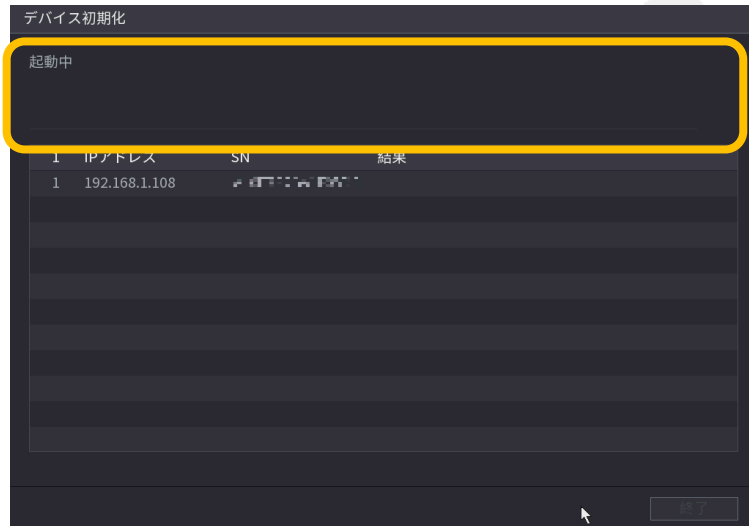
サブネットマスク 255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ 192.168.1.1

1	192.168.1.108
---	---------------

前 次へ スキップ

- 9) 進捗のバーが表示され初期化処理が開始されます。



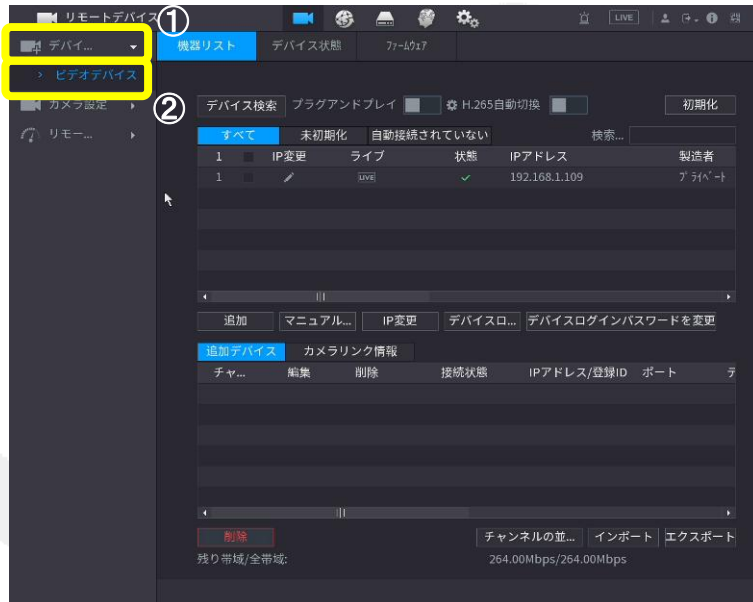
- 10) オレンジ色の進捗バーが右に行けば処理は終了です。
「結果」の欄で初期化と IP 変更が“成功” (⑪)となっているか確認し、『終了』 (⑫)をクリックして下さい。



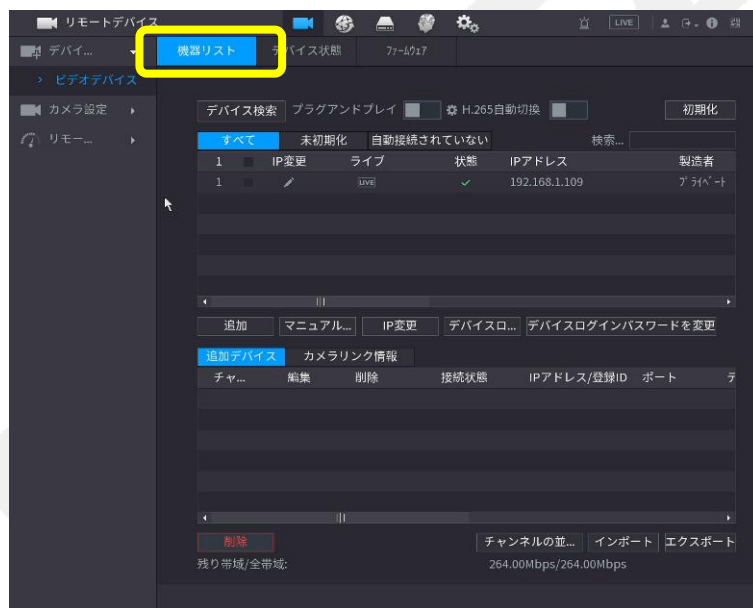
3.1.2. IP カメラの登録

IP カメラを起動させて、ネットワークに接続して下さい。

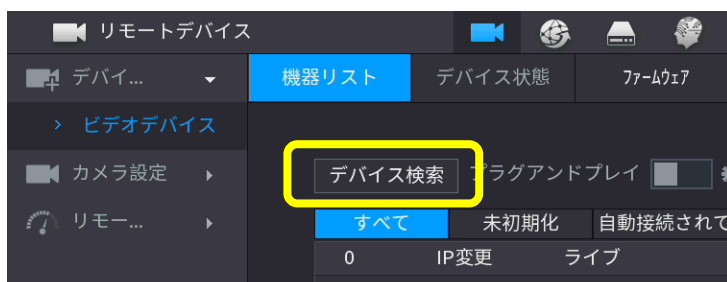
- 1) リモートデバイス画面の左側のリストから、『デバイスと追加』(①)をクリックし、表示したリストから『ビデオデバイス』(②)をクリックして下さい。



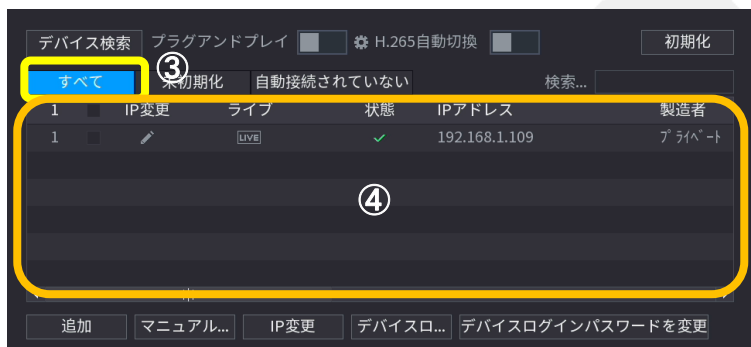
- 2) ビデオデバイス画面の上部の『機器リスト』のタブをクリックして下さい。



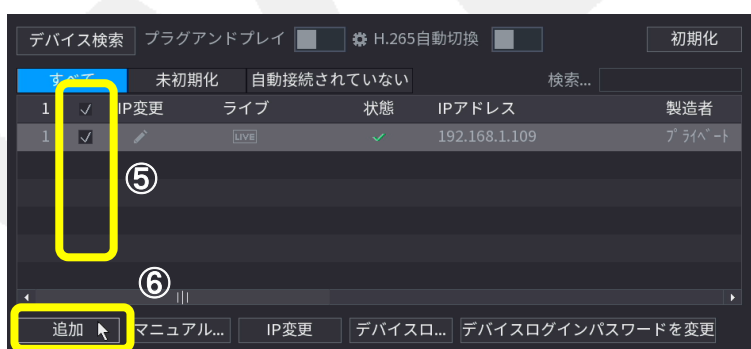
※一覧が表示されない場合は、「すべて」のタブの上にある『デバイス検索』をクリックして下さい。



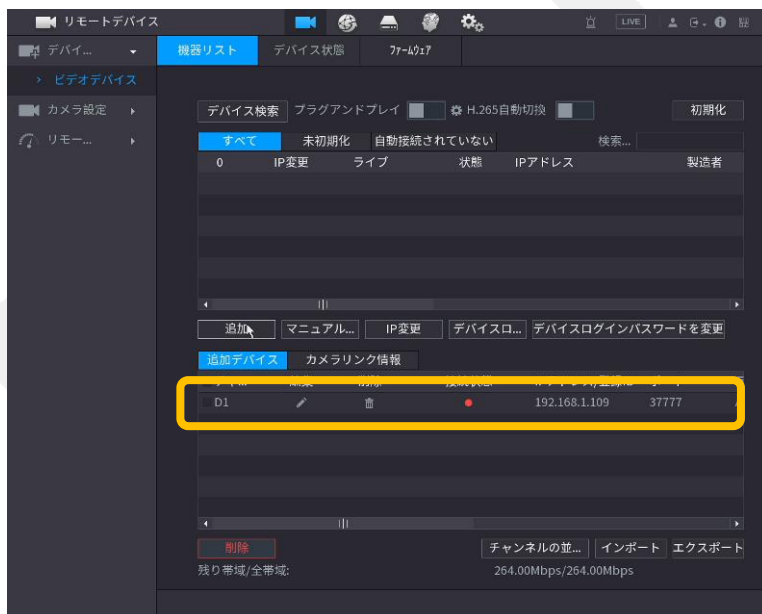
- 3) デバイスの一覧表示の上にある、『すべて』(③)のタブをクリックすると、タブの下にネットワーク上のすべての機器の一覧(④)が表示されます。



- 4) 接続する IP カメラの左端にあるチェック欄に(⑤)チェックを入れ、『追加』(⑥)をクリックして下さい。



- 5) 追加デバイスに追加されます。「状態」が(赤色)から(緑色)になれば、IP カメラの登録は終了です。右クリックを2度行い、プレビュー画面に戻り、映像の確認して下さい。



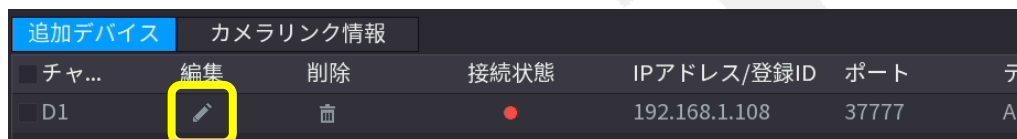
＜「状態」が(赤色)から(緑色)にならない場合の対応＞

パスワードを間違えている可能性があります。カメラの IP アドレスを確認し、次の「3.1.2.1. パスワード変更」を参照し、パスワードを再度設定して下さい。

※デフォルトのカメラのログインパスワードを変更する場合は、『デバイスのログインパスワードを変更する』をクリックし、ログインパスワードを変更して下さい。

3.1.2.1. パスワード変更

- 1) パスワードを変更する IP カメラの「編集」の  アイコンをクリックして下さい。



- 2) 『パスワード』(①)の欄にマウスを移動させ、クリックして下さい。キーボードが表示されるので、パスワードの変更(②)をし、『Enter』(③)をクリックして下さい。

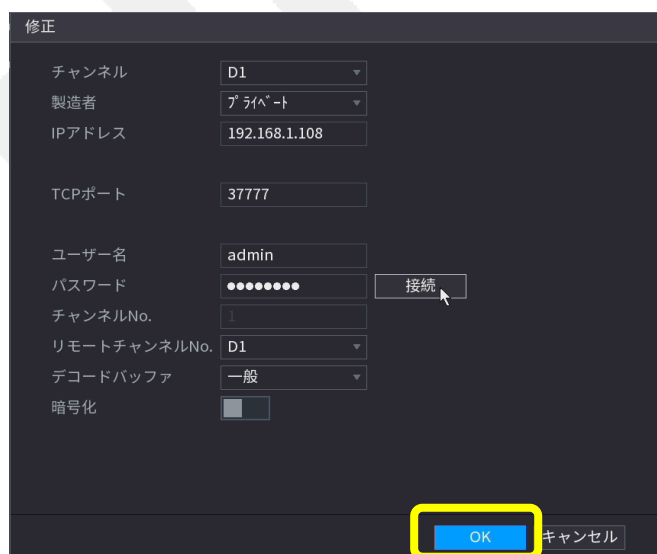


注：パスワード入力を規定回数以上間違えると、そのユーザーはロックされ 30 分間システムログインできなくなります。
<アカウントロック時の対応>

以下の2つのどちらかを実行し、再度パスワードの変更をして下さい。

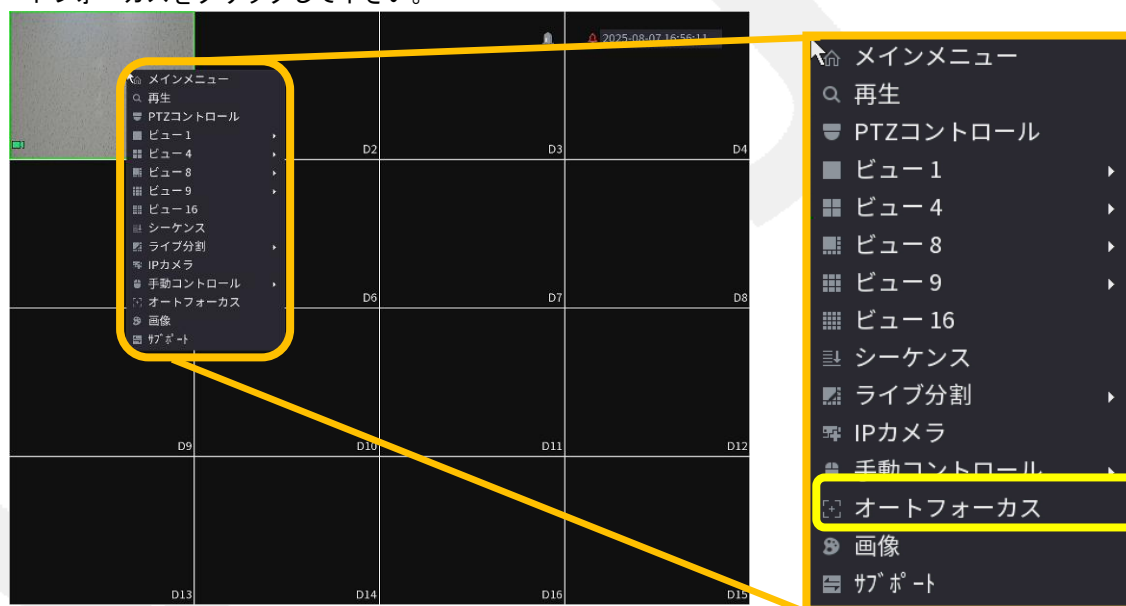
- ・ 30 分間待って、再度パスワードを入力
- ・ カメラを再起動 (PoE 給電の場合、LAN 線の抜き差し。電源アダプター給電の場合、電源コンセントを抜き差し)

- 3) 『OK』をクリックして編集画面を消去し、「状態」が  (赤色) から  (緑色) になるのを確認します。

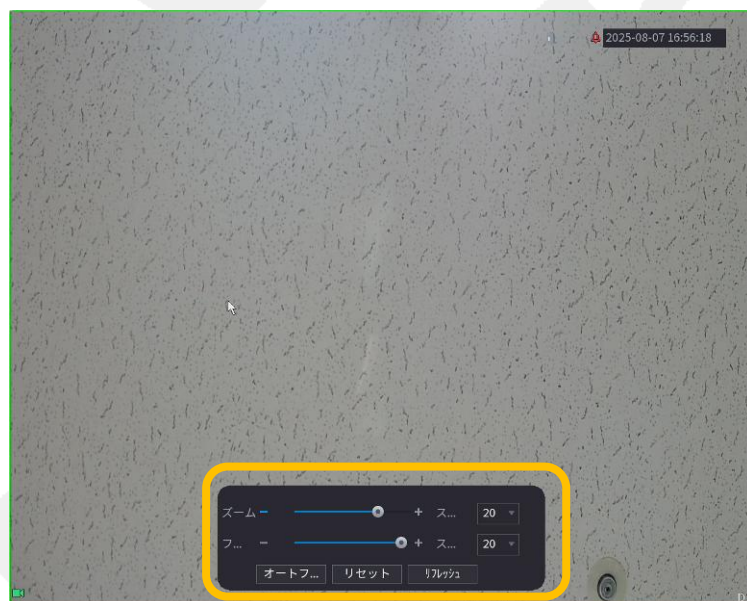


3.2. ズーム/フォーカス

- 1) ズームやフォーカスで画角の調整を行うカメラ映像にマウスを移動させ、右クリックし、表示したリストから『オートフォーカス』をクリックして下さい。



- 2) 1 画面表示になり、画面下にズーム/フォーカスの調整画面が表示されます。



3.2.1. ズーム

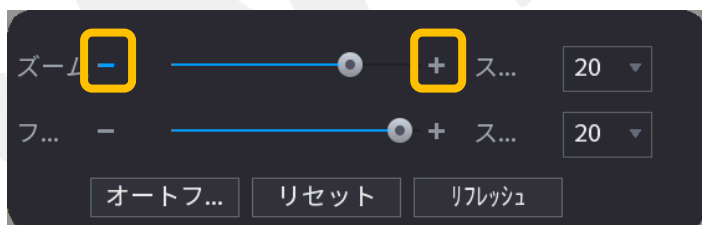
3.2.1.1. スライドバーによる調整

ズームのスライドバーにあるをクリックしながら、左にスライドすれば広角、右にスライドすれば望遠になります。



3.2.1.2. ボタン操作による調整

ズームのスライドバーの左にあるをクリックすると広角、右にあるをクリックすると望遠になります。長押しすればズームし続けます。



<1回のクリックでの変更量の調整>

+/-ボタンをクリックした際の変更量は、右の数字をクリックして、「1」/「5」/「20」から変更量を選択して下さい。スライドバーは、0～100の範囲で調整することができます。

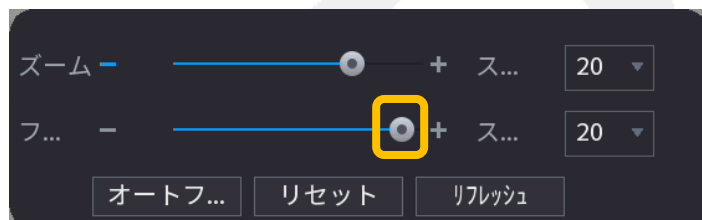


3.2.2. フォーカス

デフォルトではズームの操作により焦点距離が変更された場合、フォーカスは自動的に動作しますが、フォーカスを行う基準の領域によってはピントがずれる場合があります。その際は手でフォーカスの調整を行います。

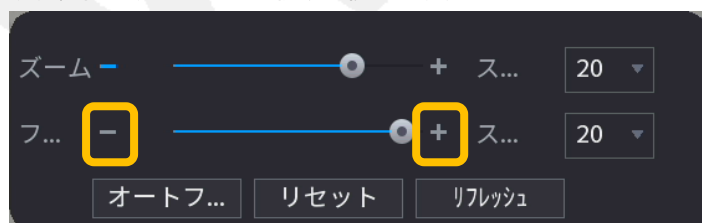
3.2.2.1. スライダーによる調整

フォーカスのスライダーにあるをクリックしながら、左にスライドすれば焦点が近くに、右にスライドすれば焦点が遠くなります。



3.2.2.2. ボタン操作による調整

フォーカスのスライダーの左にあるをクリックすると焦点が近くに、右にあるをクリックすると焦点が遠くなります。長押しすれば焦点は移動し続けます。



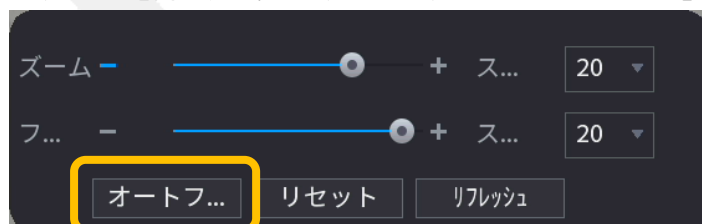
<1回のクリックでの変更量の調整>

+/-ボタンをクリックした際の変更量は、右の数字をクリックして、「1」/「5」/「20」から変更量を選択して下さい。スライダーは、0~100の範囲で調整することができます。



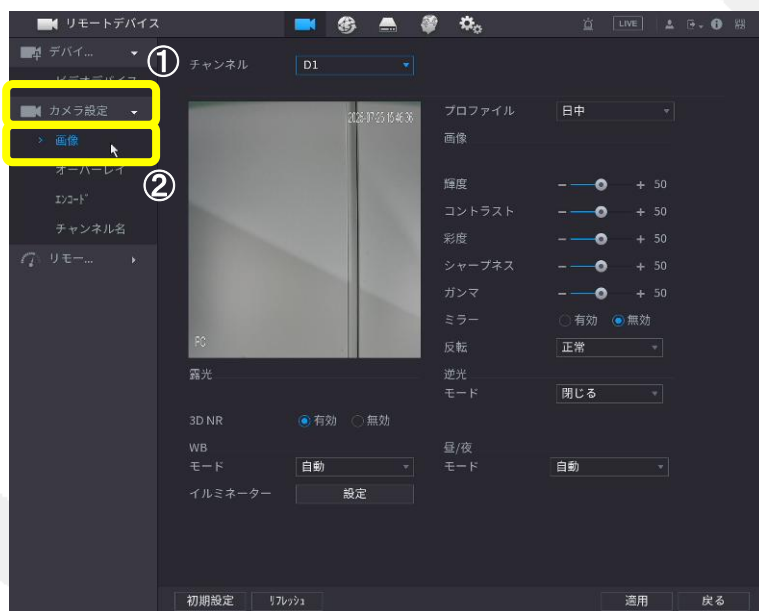
3.2.2.3. 自動調整

自動で焦点を調整する場合は、左下にある『オートフォーカス』をクリックして下さい。

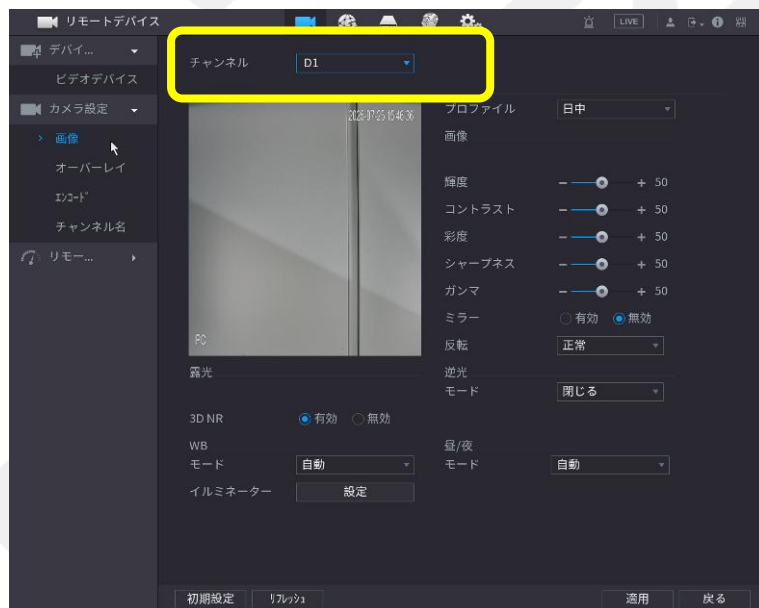


3.3. 画像設定

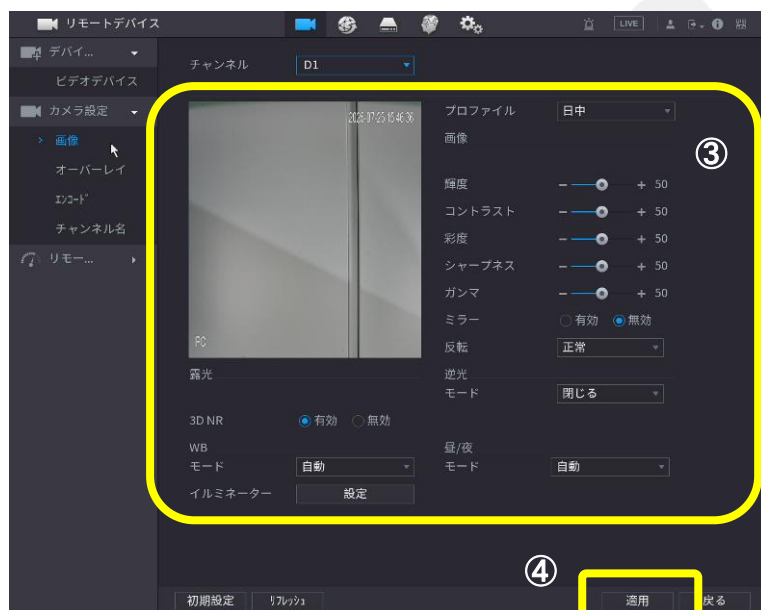
- 1) リモートデバイス画面の左側のリストから、『カメラ設定』(①)をクリックし、表示したリストから『画像』(②)をクリックして下さい。



- 2) 映像を調整するチャンネルを選択します。



- 3) 右にある設定項目 (③) にて、表示映像を調整します。調整を終了したら『適用』(④) をクリックして下さい。

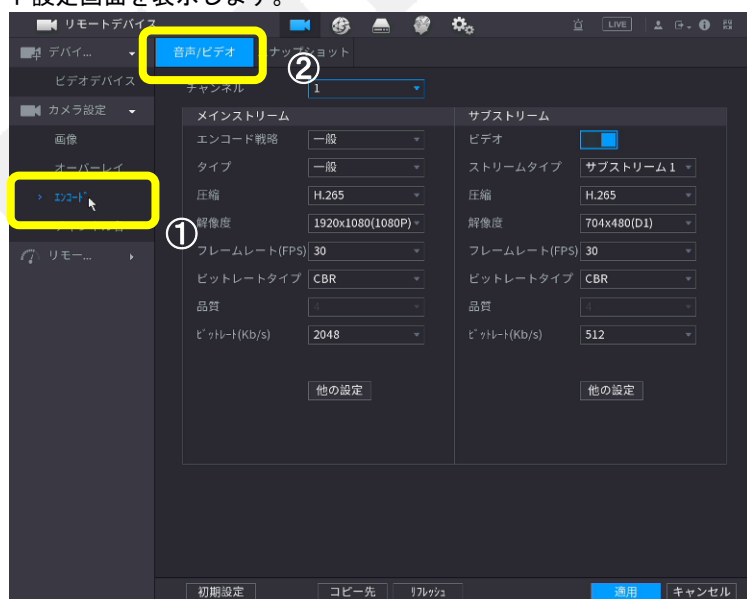


項目	説明	項目	説明
輝度	明るさの調整	反転	上下の映像反転
コントラスト	明暗差の調整	逆光モード	バックライトの設定
彩度	鮮やかさの調整	3DNR	ノイズの軽減設定
シャープネス	輪郭の強弱の調整	WB モード	ホワイトバランスの設定
ガンマ	明るさの調整。 黒と白の部分の明るさの変化を小さくし、中間部分の明るさを調整。	昼/夜モード	カラー/白黒/自動(AUTO)の設定
ミラー	左右の映像反転	イルミネーター	IR (赤外線) / 白色灯 (ウォームライト) / スマートイルミネーションの設定

3.4. エンコード設定

3.4.1. エンコード設定

- 1) 左側にあるリストから『エンコード』(①) をクリックし、上部のタブから『音声/ビデオ』をクリックして、エンコード設定画面を表示します。



- 2) 各カメラの映像の情報を、プルダウンメニューで設定（左側がメインストリーム、右側がサブストリーム）できます。各チャンネルの設定後、『適用』（③）をクリックすると設定が保存されます。
※音声の設定は、『詳細設定』（④）をクリックすると、音声設定の画面が表示されます。



○メインストリームとサブストリームの違い

項目	説明
メインストリーム	録画用途及び 1 画面/4 画面など大きい画面に表示する時に使われるストリームです。表示目的でストリームを分ける事でリソースを効率的に使用します。
サブストリーム	多分割画面や DMSS などの画面に表示する時に使われるストリームです。画像サイズやビットレートを抑えることで、機器や通信の負荷を軽減させるために使用します。

○エンコード設定補足

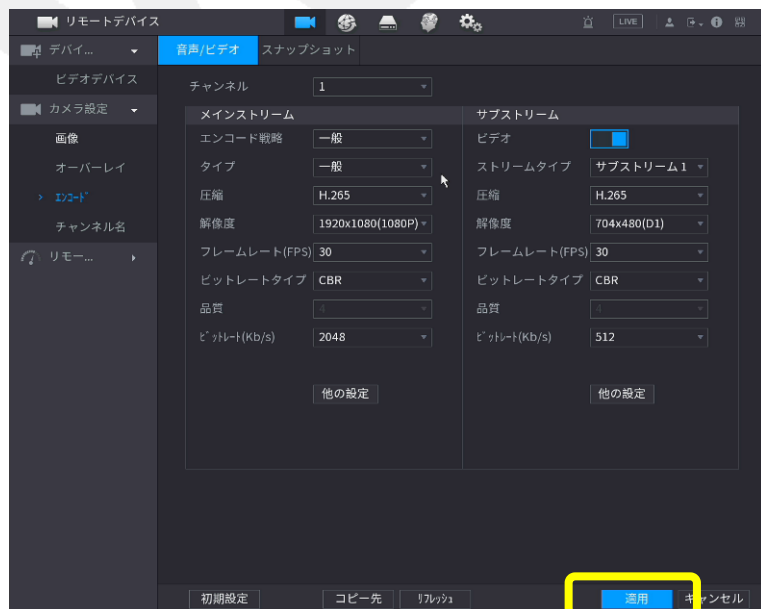
NO	項目	説明
I	チャンネル	設定するチャンネル番号を指定します。
II, VI	解像度	録画する映像の解像度が設定できます。
III, VII	フレームレート	録画する 1 秒間のコマ数が設定できます。 コマ数が多いほど、滑らかな映像が記録できます。
IV, VIII	ビットレート (kb/s)	録画する 1 秒間のデータ量の設定を行います。 データ量が多いほどクリアな映像が記録できますが、 その代わりに録画データの量が多くなります。 Dahua 製品ではこのビットレートの設定が映像の品質に直結します。
V	映像	サブストリームの映像を有効にするか設定できます。 ※無効にすると、ライブ映像が 9 画面以上など多分割画面に変更し、サブストリームの映像出力になった場合、モニターに映像は出ないのでご注意ください。
IX	詳細設定（音声）	ビルトインマイク/外部マイクを使用の場合、設定することで音声の出力や録音が可能になります。

3.4.1.1. 音声設定

- 1) 音声を出力/録音する場合は、『音声』(①)をON(右にスライド:青色に変更)し、『OK』(②)をクリックして下さい。サブストリームにて、音声を出力/録音する場合は、サブストリームの設定も行して下さい。



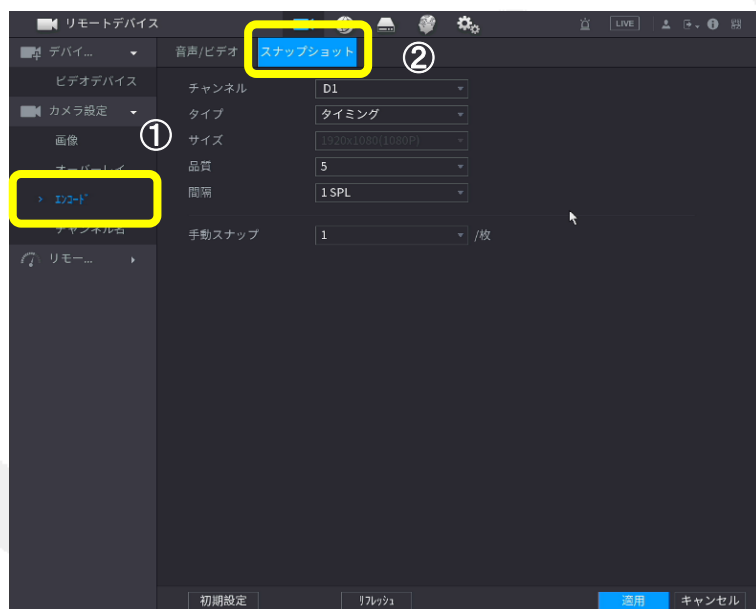
- 2) 『適用』をクリックし、設定を保存します。



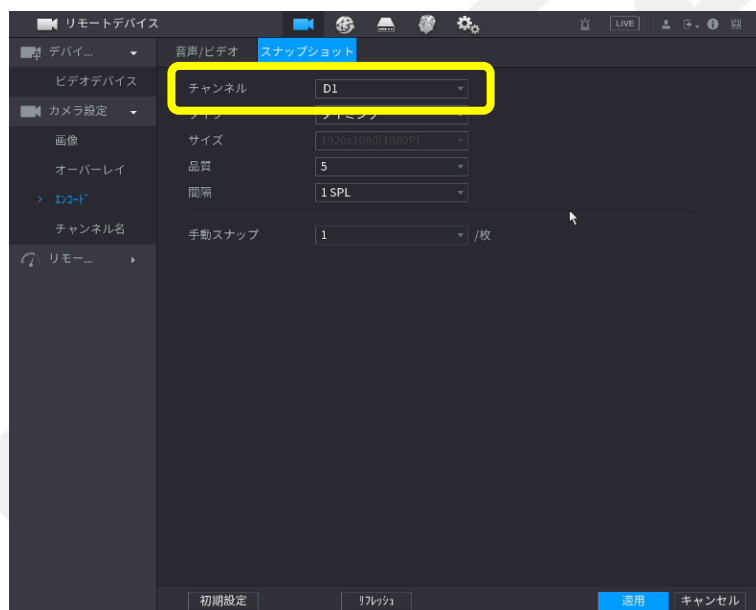
3.4.2. スナップショット設定

スナップショットを行った際の画像サイズ・画質を設定します。

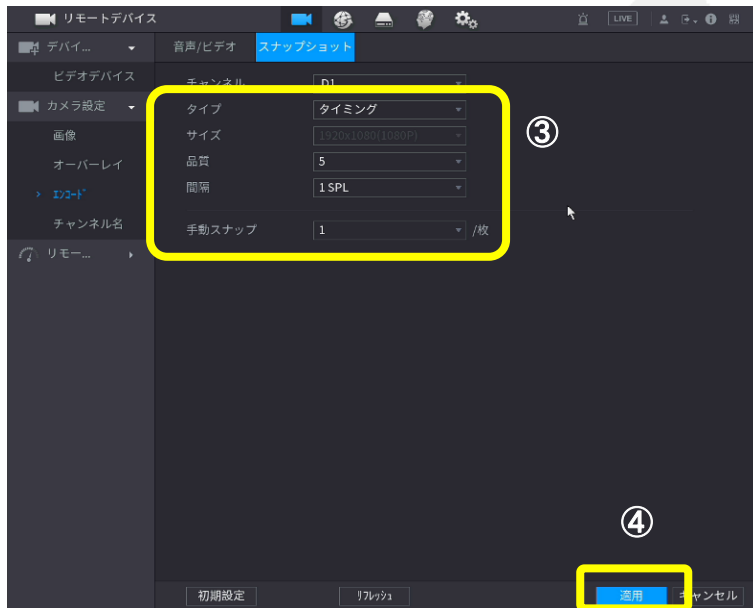
- 1) 左側にあるリストから『エンコード』(①)をクリックし、上部のタブから『スナップショット』(②)をクリックして、スナップショット設定画面を表示します。



- 2) スナップショットの設定を変更するチャンネルを選択します。



- 3) スナップショットの設定項目 (③) にて、画質の設定をし、終了したら『適用』(④) をクリックして下さい



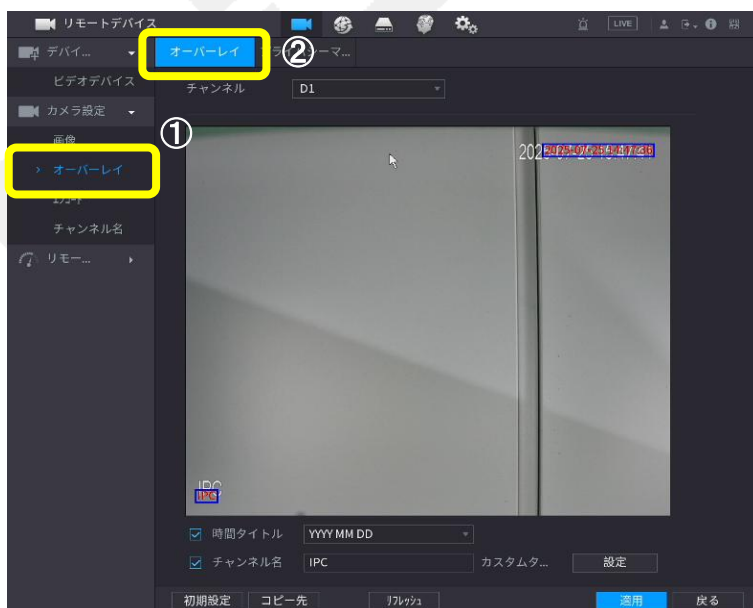
項目	説明
タイプ	タイミング（ボタン押下時）/トリガー（イベント発生時）を選択します。
品質	画像の質を選択ができ、数値が大きいほど品質が高くなります。
間隔	保存間隔を設定できます。（1SPL：1秒間隔で1枚。2SPL：2秒間隔で1枚）
手動スナップ	ライブ映像などでスナップショットの保存した際の連続枚数を設定します。（1秒間隔で保存）

3.5. チャンネル名設定

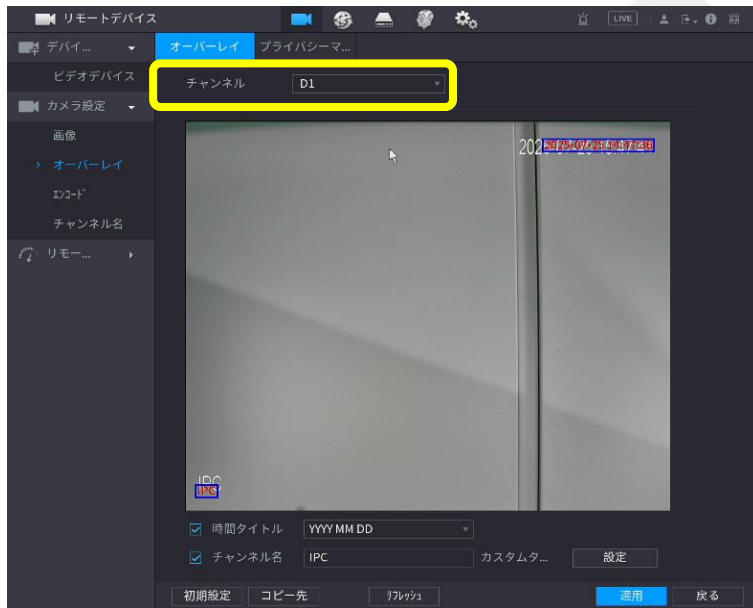
プレビューや録画映像にカメラ名などの文字列を表示する機能です。

3.5.1. チャンネル毎の設定

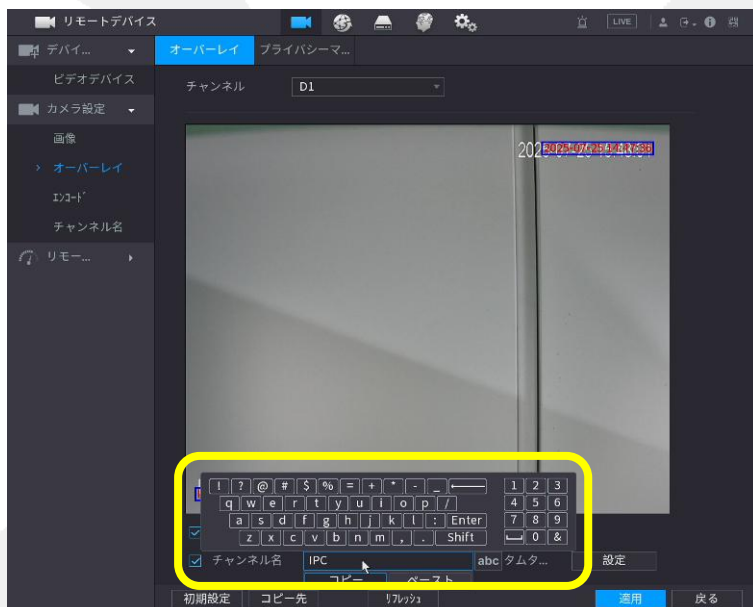
- 1) 左側のカメラ設定のリストから、『オーバーレイ』(①) をクリックし、上部の『オーバーレイ』 (②) タブをクリックして下さい。



- 2) 「チャンネル」でチャンネル名を変更するチャンネルをリストから選択します。

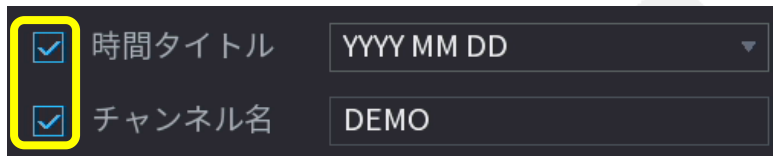


- 3) チャンネル名を変更する IPC の枠内をクリックすると、ソフトウェアキーボードが表示されるので、チャンネル名を変更し、キーボードの『Enter』をクリックして下さい。



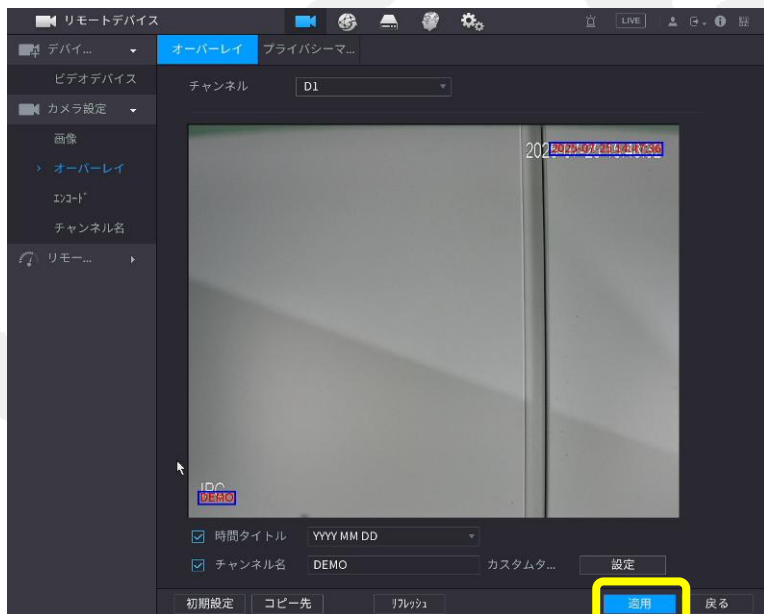
※ チャンネル名の入力、英数字のみです。

- 4) チャンネル名の変更が終了したら、チェックを入れます。



※ チェックを入れると、プレビュー表示ならびに録画映像の両方の映像に表示されます。一方のみの表示は出来ないの
で注意して下さい。

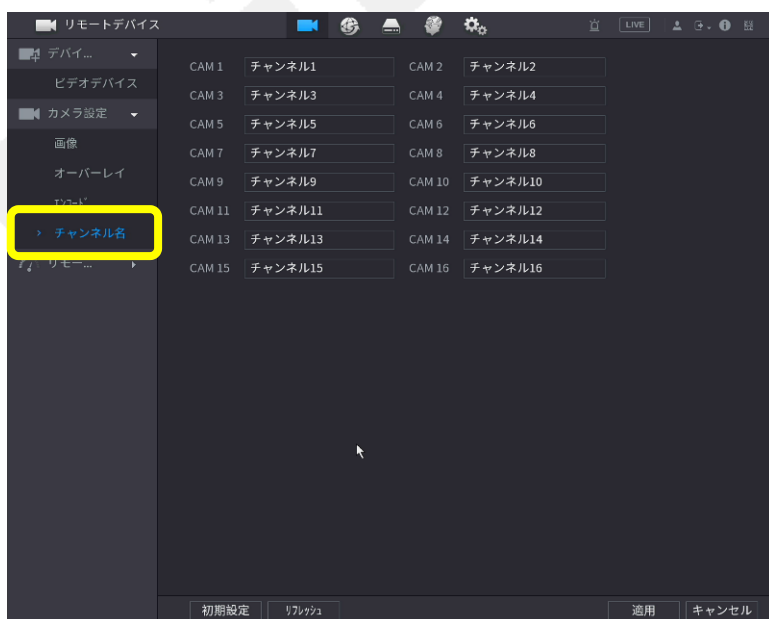
- 5) 設定が終了したら、『適用』をクリックして下さい。



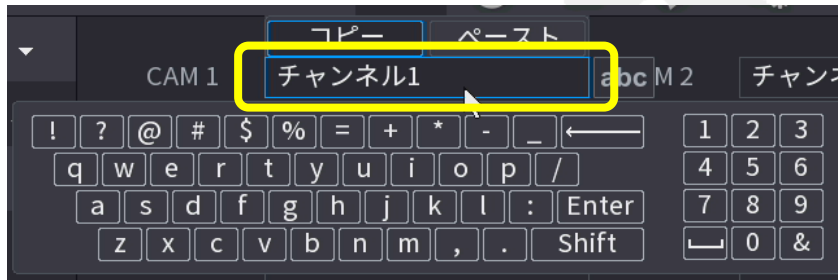
3.5.2. 複数のチャンネルを同時に設定

複数のチャンネルのチャンネル名を同時に設定することが出来ます。但し、チャンネル名の表示の有無はこの設定では出来ません。

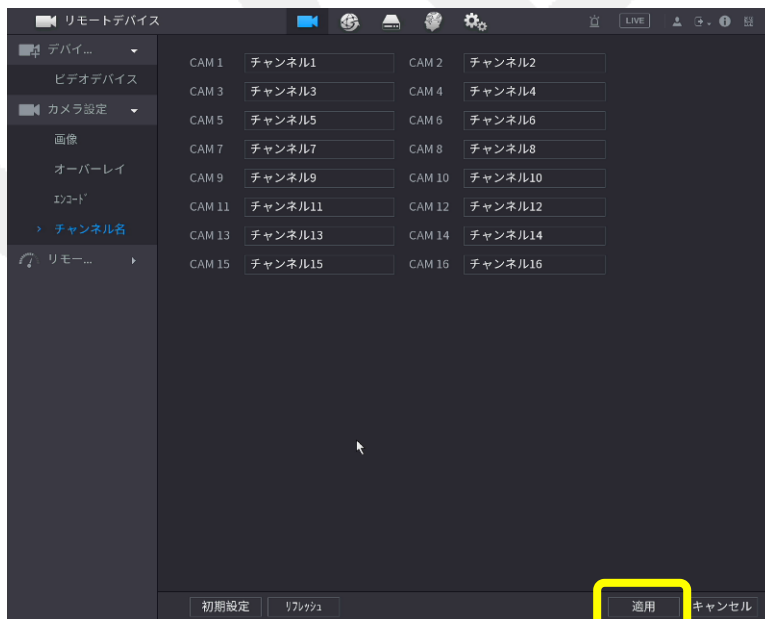
- 1) 左側のカメラ設定のリストから、『チャンネル名』をクリックします。



- 2) 右側に表示されたチャンネル名一覧から、チャンネル名を変更する **チャンネル1** の枠内をクリックすると、ソフトウェアキーボードが表示されるので、チャンネル名を変更してください。



- 3) チャンネル名の変更が終了したら、キーボードの『Enter』をクリックし、キーボードを消去し、『適用』をクリックします。



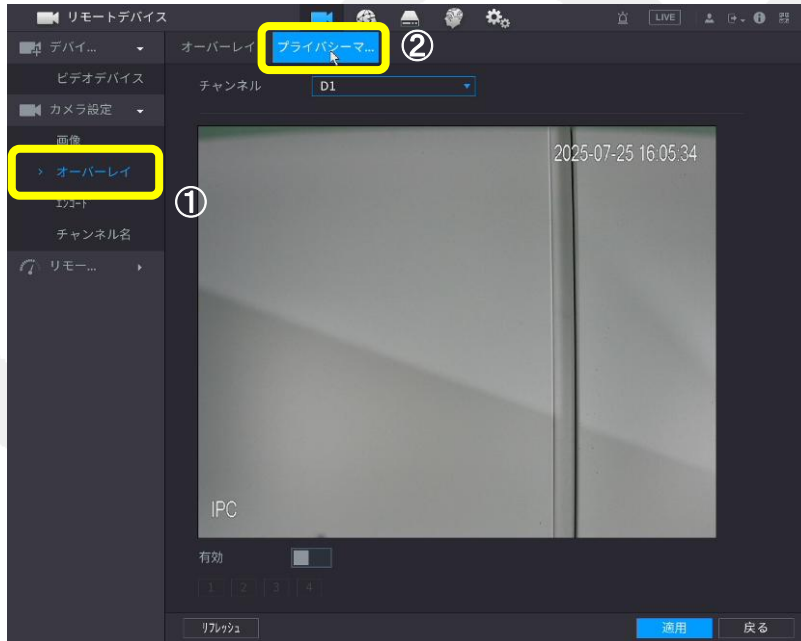
※ チャンネル名の入力は、英数字のみです。

3.6. プライバシーマスク設定

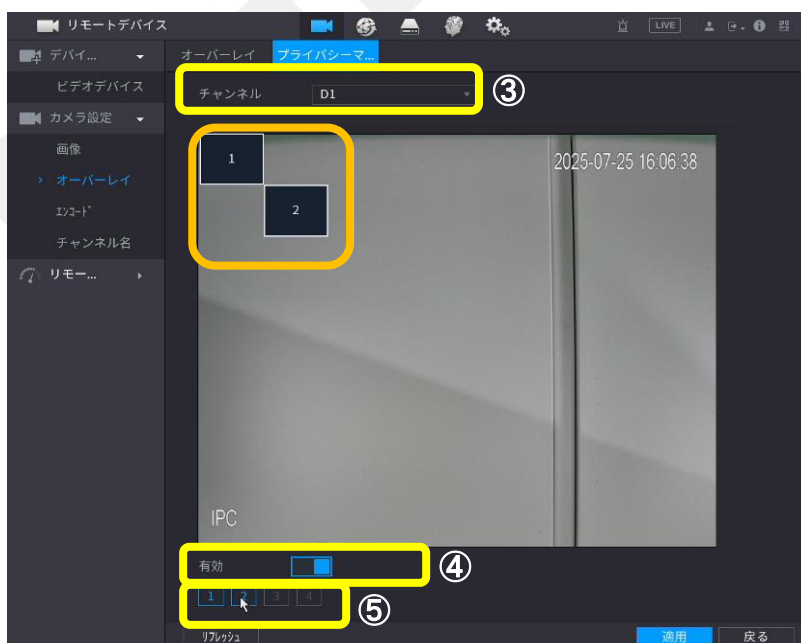
プレビュー映像または録画映像に映したくない領域を黒い領域で隠す機能です。以下にレコーダーの設定手順を説明します。
※レコーダーによっては[プレビュー]/[映像]を纏めて、「カバーエリア」と表示されている場合があります。

3.6.1. プライバシーマスク設定手順

- 1) 左側のカメラ設定のリストから、『オーバーレイ』(①)をクリックし、上部の『プライバシーマスク』(②)タブをクリックして下さい。



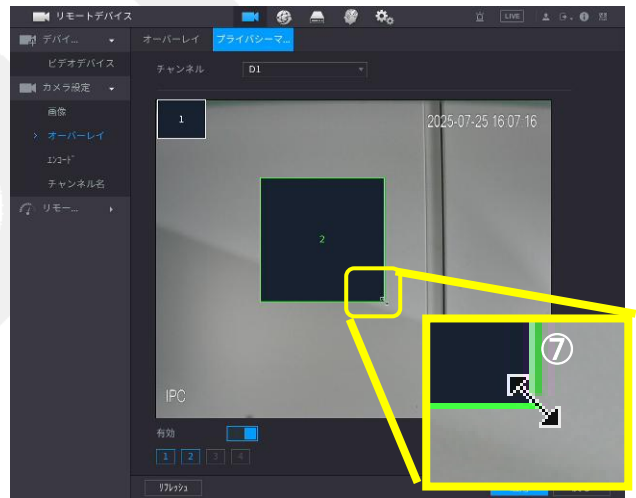
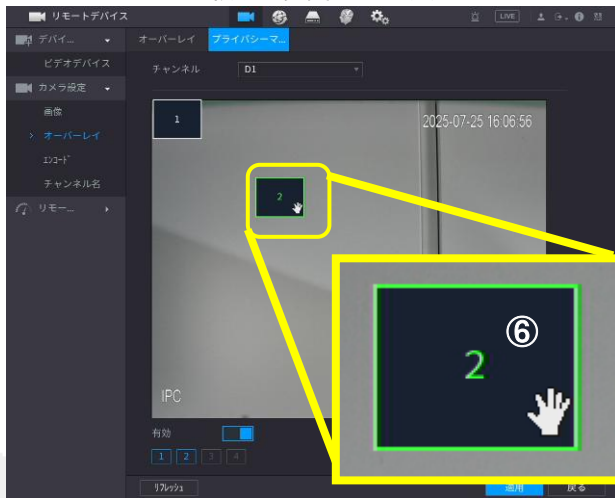
- 2) プライバシーマスクの設定を行います。設定が終了すると、映像内にマスキングの領域が表示されます。
③「チャンネル」でプライバシーマスクを設定したい映像のチャンネルをリストから選択します。
④ プライバシーマスクを有効（右ヘスライド：青色に変更）にします。
⑤ プライバシーマスクは1画面に4つまで設定することができるので、[1]～[4]に使用するプライバシーマスクをクリックして下さい。※使用する番号は順番通りでなくとも可能です。



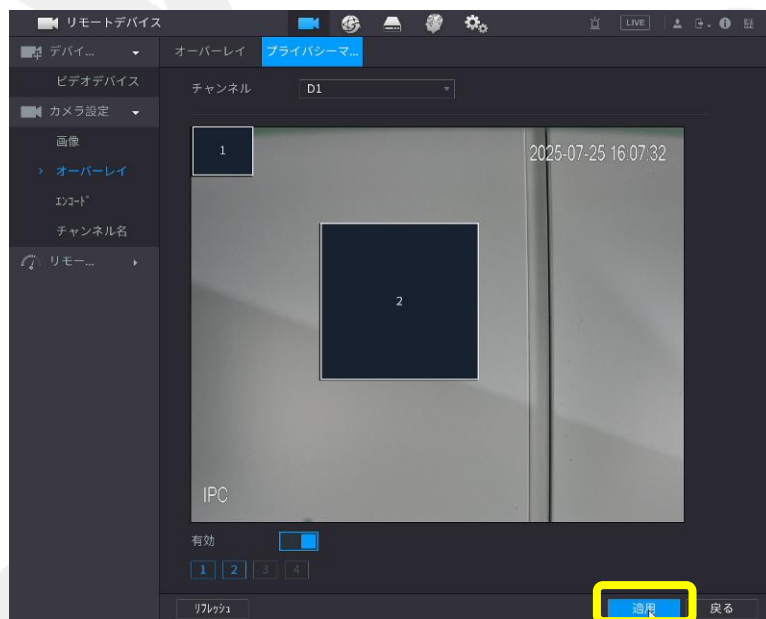
3) マスキングの領域を設定します。※マスキングの領域は重なって表示されている場合があります。

⑥ プライバシーマスクをドラッグしながら、設定したい位置に移動させて下さい。

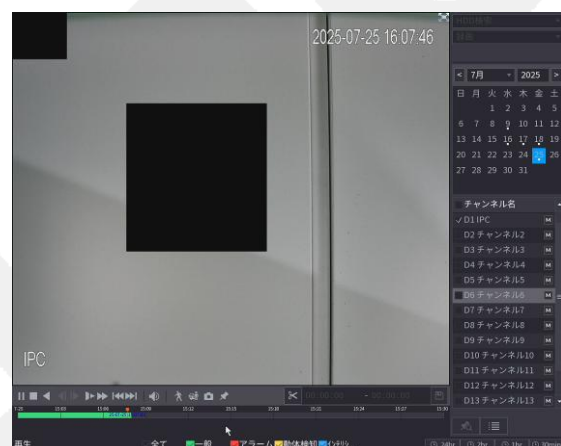
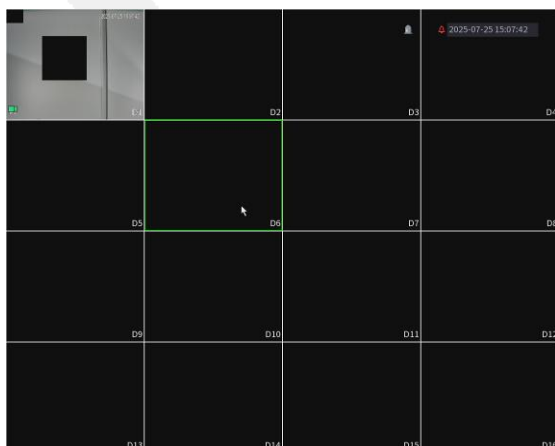
⑦ マウスをプライバシーマスクの枠に移動させると、マウスのアイコンが両端矢印に変更されます (⑦)。のアイコン状態にてドラッグしながら枠の大きさを調整し、所望の選択枠になった時点でドラッグを停止すると、プライバシーマスクの領域が変更されます。



4) プライバシーマスクの領域の設定が終了した場合は、『適用』をクリックして下さい。



5) ライブ画面、または検索再生画面にて、プライバシーマスクが設定されていることを確認します。



4. カメラの Firmware アップグレード

カメラのファームウェアのアップグレードをレコーダーから行う手順です。

アップグレードを実行する前に、PC などではファームウェアを USB メモリーに格納し、IP カメラはレコーダーに登録し、カメラ映像が出力している状態で行って下さい。

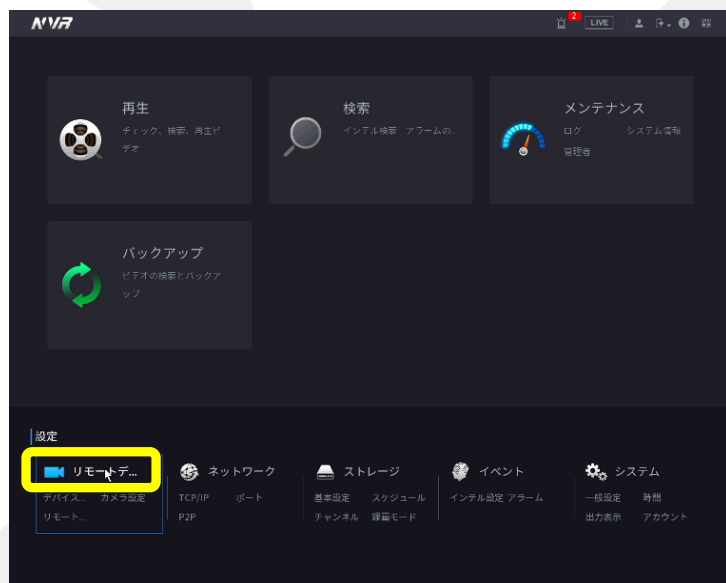
※ ファームウェアは、必ず購入先に問い合わせた弊社指定の物を使用して下さい。

- 1) バックアップ用の USB メモリーをレコーダーの USB ポートに挿入して下さい。

USB メモリーを認識すると、下記画面が表示されるので、右クリックで「USB デバイス」の画面を消去して下さい。



- 2) 『メインメニュー』の『リモートデバイス』をクリックして下さい。



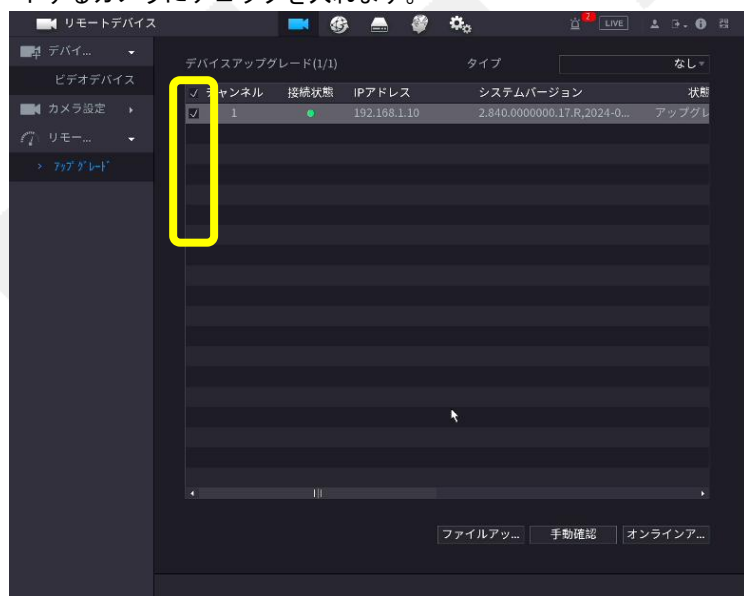
- 3) 左のリストから、『リモートデバイス』(①)をクリックし、表示したリストから『アップグレード』(②)をクリックして下さい。



※リモートデバイスのアイコンの内にある項目名をクリックし、その項目名の設定画面を表示することも可能です。

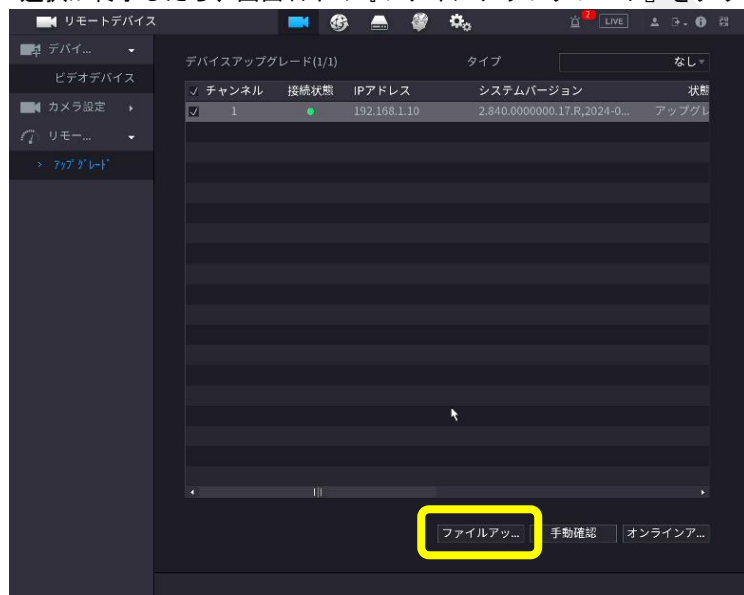


- 4) リモートデバイスのアップグレード画面が表示され、接続しているデバイスの一覧が表示されるので、アップグレードするカメラにチェックを入れます。



※同機種やファームウェアが同じ機種の場合は、対象機種すべてにチェックを入れることで、一括でアップグレードすることが可能です。

- 5) 選択が終了したら、画面右下の『ファイルアップグレード』をクリックして下さい。



- 6) USB メモリーの内容が表示されるので、アップグレードするファームウェアのファイル (③) をクリックし、選択したファームウェアのファイルが正しい事を確認 (④) し、『OK』(⑤) をクリックして下さい。



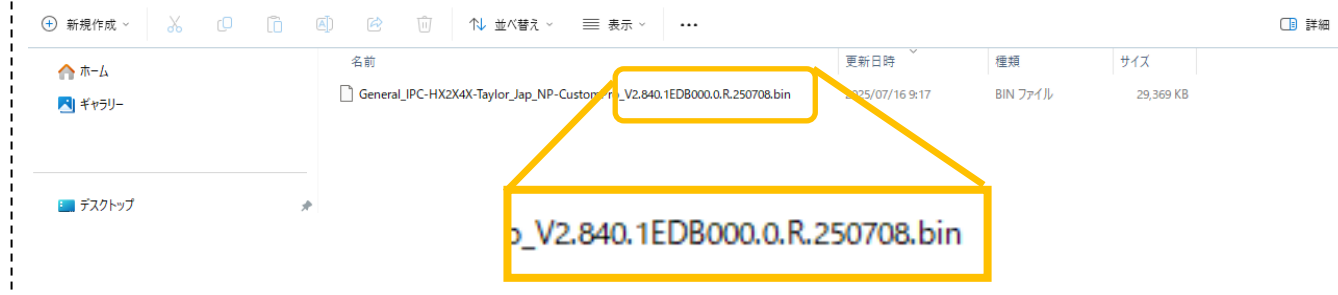
- 7) 状態が“アップグレード成功”が表示すればアップグレードは終了です。



- 8) 終了すると自動的にレコーダーは再起動します。
9) カメラの再起動後、カメラの接続状態が緑色に戻り、システムバージョンが変更されていることを確認します。



※ファームウェアのファイル名の後ろにある“V”以下がバージョンになります。



以上